報道発表資料

2014 年 4 月 22 日
インフォテリア株式会社

## インフォテリア、ASTERIA WARP が Microsoft Azure に対応し企業のクラウドを推進
## ～ クラウドによる運用負担軽減とノンプログラミングによるデータ転送の堅牢性を同時に実現 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、EAI/ESB(※1)製品の国内市場において 7 年連続シェア No.1(※2)製品であるデータ連携ミドルウェア「ASTERIA WARP（アステリア ワープ)」が日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長:樋口泰行、以下、マイクロソフト）の「Microsoft Azure（マイクロソフト・アジュール)」環境に対応したことを発表します。

現在、クラウドコンピューティングの普及が進む中、オンプレミスとクラウドといったクラウド環境の共存が必要不可欠となっています。ASTERIA WARP と Microsoft Azure のクラウド環境においてデータや社内システムを安全に運用するため動作検証を行い、企業資産であるデータの活用や企業が所有するシステムに最適なクラウド環境を構築できることを確認しました。

ASTERIA WARP が Microsoft Azure に対応したことで、2 月 26 日に開設された国内東西の Microsoft Azure のデータセンターへノンプログラミングで同時かつ高速にデータ転送ができるため、データの堅牢性を確保したまま、より簡単なデータ連携の運用設計が可能となります。また、ASTERIA WARP のユーザー企業は、サーバー環境を Microsoft Azure へ移すことで運用環境の負担軽減が可能になります。

### １．Microsoft Azure の仮想マシンで ASTERIA WARP の動作検証

ASTERIA WARP は、Microsoft Azure の日本データセンターで稼働する Windows Server と Ubuntu の仮想環境で正常に動作することを確認しました。Windows Azure から Microsoft Azure へ名称が変更されたことに象徴されるように、各社に合った環境を選択することができ、ASTERIA WARP を活用して最適なハイブリッドクラウドを構築することが可能となります。

### ２．ローカル、仮想環境の両環境で接続を確認

開発環境であるフローデザイナーについては、Microsoft Azure 上の環境、社内環境のどちらからでも Microsoft Azure 上の ASTERIA WARP サーバーに接続することが可能であることを確認しました。これまで ASTERIA WARP をお使いの方であれば、必要に応じて、ASTERIA WARP を Microsoft Azure へ移行することでサーバーの運用負荷を軽減することが可能となります。

### ３．Microsoft Azure での堅牢性の確保

Microsoft Azure へデータを保存する場合に利用するストレージサービスへノンプログラミングで転送が可能です。東西の Microsoft Azure のデータセンターでデータの堅牢性の確保を簡単に行うことが出来ます。

### ４．Active Direcotry の連携

Microsoft Azure 上で作成された Active Directory は企業内で展開している Active Directory もしくは各システムのユーザー情報と連携することで業務効率化を図れます。
社外での作業が多くなる営業担当者のみ Office365 のアカウントを連携するような 1 部門に絞った連携などが可能となります。

インフォテリアは、今後ますます増えていくクラウド環境の中で、企業にとって最適なクラウド化を推進し業務システムの効率化に貢献してまいります。

### ■インフォテリア株式会社について

1998 年に国内初のXML専業ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。

主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 4,000 社以上（2013 年 12 月末現在）の企業に導入されています。また、パソコン上のあらゆる電子ファイルを、クラウド経由で iPhone/iPad/Android/Windows 8 などのスマートフォン、タブレットに配信するサービス「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料など業務文書をタブレットで持ち運べるツールのスタンダードとして、現在 600 社以上（2013 年 12 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。→ http://www.infoteria.com/

※ 本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

■本リリースに関するお問い合わせ先
インフォテリア株式会社　広報担当：嶋　かおる
TEL:03-5718-1297　FAX:03-5718-1261
E-mail: press@infoteria.com

■製品に関するお問い合わせ先
インフォテリア株式会社　マーケティング本部　プロダクトマーケティング部
製品担当：森　一弥
TEL: 0120-279-140
E-mail: pm@infoteria.com

■ 本プレスリリースの掲載 URL
http://www.infoteria.com/jp/news/press/2014/04/22_01.php